

2019年12月
No.19-172a(山)

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社の基準値は、福岡県五病院会が作成し、1995年に福岡県医師会から県内共通基準として推奨された範囲を採用しております。その後、2014年3月にJCCLS(日本臨床検査標準協議会)から共用基準範囲が公表されましたので、弊社において検討を重ねた結果、妥当と判断いたしました。

本年10月よりクレアチニンのみ先行して共用基準範囲に変更しておりましたが、この度、他の項目につきましても共用基準範囲またはガイドライン等に基づく臨床判断値に変更する運びとなりましたので、ご案内する次第です。

また、一部項目はこの度の変更に合わせて、検査項目名称を見直しさせていただきます。
誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目

[1001]血液一般	[1501]総蛋白(TP)	[1503]アルブミン(Alb)	[1505]A/G比
[1522]総ビリルビン	[1529]AST(GOT)	[1531]ALT(GPT)	[1533]LD(LDH)
[1535]ALP	[1538]γ-GT(γ-GTP)	[1539]コリンエステラーゼ	[1540]CK(CPK)
[1544]アミラーゼ	[1611]尿素窒素(BUN)	[1619]尿酸(UA)	[1704]総コレステロール
[1705]トリグリセライド	[1706]HDL-コレステロール	[1959]LDL-コレステロール	[1817]ナトリウム/クロール
[1829]カリウム	[1834]カルシウム	[1836]無機リン	[1838]鉄
[1660]血糖	[1822]HbA1c(NGSP)	[3487]C-反応性蛋白	

※変更内容の詳細は裏面以降をご確認下さい。

■変更期日

●2020年2月1日(土)受付日分より

■対象項目/変更内容

●下記項目につきまして JCCLS(日本臨床検査標準協議会)より公表された共用基準範囲に変更いたします。

臨床判断値を採用した値には下線を付け備考に記載し、参考として共用基準範囲の値も掲載しています。

この変更に合わせて一部項目につきましては、主流となっている検査項目名称へ変更させていただきます。

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
44 103	3487	C-反応性蛋白(CRP)《定量》	基 準 値 (mg/dL)	0.14 以下	0.20 以下	
44 109	1501	総蛋白(TP)	基 準 値 (g/dL)	6.6~8.1	6.7~8.3	
109	1503	アルブミン(Alb)	基 準 値 (g/dL)	4.1~5.1	4.0~5.0	
	1505	A/G 比	基 準 値	1.32~2.23	1.3~2.0	
44 110	1544	アミラーゼ	基 準 値 (U/L)	44~132	42~132	
44 111	1540	CK(CPK)	基 準 値 (U/L)	M 59~248 F 41~153	M 62~287 F 45~163	
	1529	AST(GOT)	基 準 値 (U/L)	13~30	13~33	
	1531	ALT(GPT)	基 準 値 (U/L)	M 10~ <u>30</u> F 7~ <u>30</u> 参考共用基準範囲 M 10~42 F 7~23	<u>6</u> ~30	上限 30 は専門医との協議による臨床判断値
	1533	LD(LDH)	検査項目名称	LD(LDH)	LDH	報告書の項目名称の見直し
	1535	ALP(アルカリ fosfatasé)	基 準 値 (U/L)	124~222	119~229	
111	1538	γ-GT(γ-GTP)	検査項目名称	γ-GT(γ-GTP)	γ-GTP	報告書の項目名称の見直し
			基 準 値 (U/L)	M 13~64 F 9~32	10~47	
112	1539	コリンエステラーゼ(ChE)	基 準 値 (U/L)	M 240~486 F 201~421	214~466	
44 113	1611	尿素窒素(BUN)	基 準 値 (mg/dL)	8.0~20.0	8.0~22.0	
113	1619	尿酸(UA)	基 準 値 (mg/dL)	M 3.7~ <u>7.0</u> F 2.6~ <u>7.0</u> 参考共用基準範囲 M 3.7~7.8 F 2.6~5.5	M 3.6~ <u>7.0</u> F 2.3~ <u>7.0</u>	上限 7.0 は日本プリン・ピリミシン代謝学会コンセンサスカンファレンス(1996)に基づく臨床判断値
44 116	1660	血糖(グルコース)* ¹	基 準 値 (mg/dL)	73~ <u>109</u> 参考共用基準範囲 73~109	<u>80</u> ~109	上限 109 は糖尿病診療ガイドライン 2013 に基づく臨床判断値
116	1822	HbA1c (NGSP)	基 準 値 (%)	4.9~6.0	4.6~6.2	

* 1: [1662] 血清血糖、[4541] 血糖-前、[4561] 血糖-起床時、[4581] 経時血糖-前の基準値も同様に 73~109 に変更させていただきます。

項目 コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
118	1705 トリグリセライド (中性脂肪)	基 準 値 (mg/dL)	M 40~149 F 30~149 参考共用基準範囲 M 40~234 F 30~117	30~149	上限 149 は動脈硬化性疾患診療ガイドライン 2012 年版に基づく臨床判断値
	1704 総コレステロール (Tcho)	基 準 値 (mg/dL)	142~219 参考共用基準範囲 142~248	128~219	上限 219 は動脈硬化性疾患診療ガイドライン 2007 年版に基づく臨床判断値
	1706 HDL-コレステロール	基 準 値 (mg/dL)	M 40~90 F 40~103 参考共用基準範囲 M 38~90 F 48~103	40~96	下限 40 は動脈硬化性疾患診療ガイドライン 2012 年版に基づく臨床判断値
	1959 LDL コレステロール ^{*2} 《直接法》	基 準 値 (mg/dL)	65~139 参考共用基準範囲 65~163	70~139	上限 139 は動脈硬化性疾患診療ガイドライン 2012 年版に基づく臨床判断値
44 124	1817 ナトリウム(Na)	基 準 値 (mmol/L)	138~145	138~146	
	1829 クロール(Cl)	基 準 値 (mmol/L)	101~108	99~109	
	1829 カリウム(K)	基 準 値 (mmol/L)	3.6~4.8	3.6~4.9	
124	1834 カルシウム(Ca) ^{*3}	基 準 値 (mg/dL)	8.8~10.1	8.7~10.3	
	1836 無機リン(IP)	基 準 値 (mg/dL)	2.7~4.6	2.5~4.7	
125	1838 鉄(Fe)	基 準 値 (μ g/dL)	40~188	M 57~191 F 44~150	
44 125	1522 総ビリルビン ^{*4}	基 準 値 (mg/dL)	0.4~1.2 参考共用基準範囲 0.4~1.5	0.3~1.2	上限 1.2 は専門医との協議による臨床判断値
45 134	1001 血液一般	白血球数	基 準 値 (/ μ L)	3300~8600	M 3800~9200 F 3600~8900
		赤血球数	基 準 値 (万/ μ L)	M 435~555 F 386~492	M 420~560 F 375~495
		ヘモグロビン	基 準 値 (g/dL)	M 13.7~16.8 F 11.6~14.8	M 13.5~17.7 F 11.5~15.3
		ヘマトクリット	基 準 値 (%)	M 40.7~50.1 F 35.1~44.4	M 40.0~51.5 F 34.3~45.2
		血小板数	基 準 値 (万/ μ L)	15.8~34.8	13.0~36.0
		MCV	基 準 値 (fL)	83.6~98.2	M 85.0~102.0 F 84.0~102.0
		MCH	基 準 値 (pg)	27.5~33.2	M 28.0~35.0 F 27.0~34.0
		MCHC	基 準 値	31.7~35.3	31.0~36.0
			単 位	g/dL	%

* 2: [1960] LDL-コレステロール《間接法》の基準値も同様に 65~139 に変更させていただきます。

* 3: [1830] 補正カルシウムの基準値も同様に 8.8~10.1 に変更させていただきます。

* 4: 総ビリルビンの基準値変更に合わせて、[1526] 間接ビリルビンの基準値を 0.4~0.8 に変更させていただきます。

JCCLS 共用基準範囲

臨床検査値は客観的な医学情報として活用されており、その結果の解釈や判断を行う上での目安(ものさし)として「基準範囲」(いわゆる基準値)があります。しかし、以前はその設定や利用について施設ごとに様々な方法が採用されていました。一方、我が国では医療保険制度において質の高い効率的な医療提供体制のために医療機関の機能分担と連携(病病連携、病診連携)が進められており、これにともない医療機関(健診機関を含む)の間で患者の検査情報の共有化が期待され、測定方法の標準化とともに基準範囲の共用化が望まれています。

このような状況の中、3種類の大規模な多施設共同の基準範囲プロジェクト(日本臨床衛生検査技師会、IFCC基準範囲判断値委員会、福岡県5病院会)で得られた基準値のデータをもとにした共用基準範囲が2014年3月に日本臨床検査標準協議会(JCCLS)より公表されました。

共用基準範囲は一定の基準を満たす健常者を基準個体として、その測定値の中央95%の区間を基準範囲としています。地域差がないことも確認された日本全国で共用できるもので、日本医師会をはじめ多くの関連団体の賛同を得て共用基準範囲の普及を進めています。現在は公開から5年が経過し、大学病院や国立病院機構等を中心に共用基準範囲の採用施設が増加しており、今後基準範囲のスタンダードとして定着していくものと思われます。

なお弊社では、白血球数、赤血球数、血小板数の単位は変更せず従来通りとしました。また、一部項目につきましては臨床判断値を採用しております。これは特定の病態(動脈硬化性疾患、代謝症候など)に対して予防医学的な観点から、早期介入の目安として設定された値であり、共用基準範囲とは異なる値です。報告書の基準値欄ではそれらを区別するために、臨床判断値を採用した値には下線を付けることで識別させていただきます。

※JCCLS共用基準範囲の詳細は「日本における主要な臨床検査項目の共用基準範囲:日本臨床検査標準協議会基準範囲共用化委員会編」(http://www.jccls.org/techreport/public_20190222.pdf)にてご確認いただけます。

■報告書基準値欄における臨床判断値の識別

常用報告書		受付日-No.	
ID		報告日	
氏名		様	
性別・年齢		採取日時	
生年月日			
他属性①		他属性②	
食後		尿量	
蓄尿			
今回			
乳ビ	溶血	乳ビ	溶血
項目名	検査結果	単位	基準値
総蛋白		g/dL	6.6～8.1
アルブミン		g/dL	4.1～5.1
A/G			1.32～2.23
総ビリルビン		mg/dL	0.4～1.2
直接ビリルビン		mg/dL	0.0～0.4
AST(GOT)		U/L	13～30

下線の付いた値は臨床判断値です。